

# シンポジウム 1-3 (歯内療法・非外科処置)

## マイクロエンドを好きになろう

松永 健嗣  
石川県開業

歯科用実体顕微鏡を用いる治療法が、日本に周知、普及されて20年あまりになり、今回のシンポジウムにあるように多くの歯科治療の領域・分野において、なくてはならないツールとなっている。現在では、歯科用CTとともに新規開業する時に必要不可欠の器材となっており、若い先生がたには使用することが当たり前になってきたと思われる。しかしながら、どの歯科治療の分野でもそうだが、原理原則、基本を飛び越えた顕微鏡歯科治療は全く意味を成さないばかりか、弊害も生じる。今回は、私自身のマイクロスコープとの出会いから、勤務医時代、開業医となった現在までの約20年間を振り返りながら、歯科治療の基本に立ち返り、マイクロスコープを使用する前に押さえておくべきポイント、また実際のマイクロスコープを用いるときに注意すべきポイント、周辺機器の選択、診療のポジショニング、トレーニング法など、一般歯科への導入をスムーズに行う勘所や臨床のヒントをGPの立場から、あえて今更恥ずかしくて質問して聞けないようなベーシックな内容も織り交ぜながら、特にこれからマイクロスコープを臨床に導入する先生や経験の少ない若い先生がたの、明日からの臨床に役立つお話が出来ればと思います。

大阪歯科大学卒

石川県金沢市開業

歯学博士

東京歯科大学歯内療法学講座非常勤講師

日本歯内療法学会、指導医、専門医、代議員、認定臨床研修カリキュラム講師

中部歯内療法学会常任理事

日本臨床歯科医学会大阪支部(大阪SJCD)理事

大阪SJCD研修会エンドコースおよびマイクロエンドコース、コースディレクター、講師